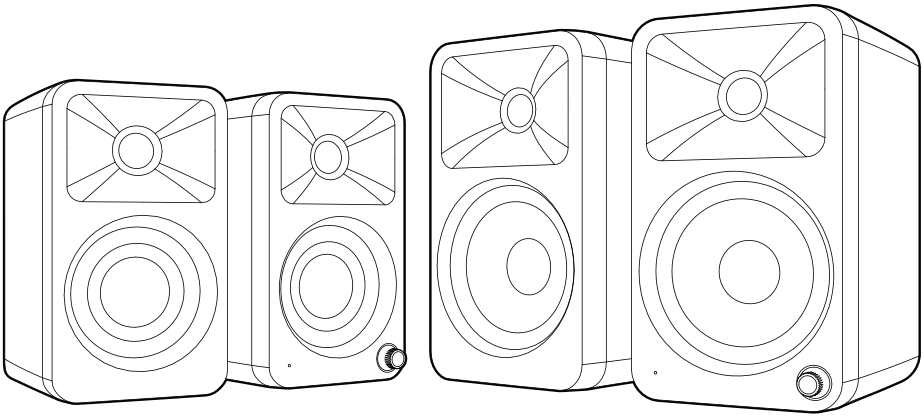
kanto

日本語
ユーザーマニュアル

ORA / ORA4

Bluetooth®



ORA

REFERENCE DESKTOP SPEAKERS

ORA4

POWERED REFERENCE SPEAKERS

Supporting your digital lifestyle™

重要な安全上の注意事項

警告

安全の為の注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

CAUTION

RISK OF ELECTRIC SHOCK
DO NOT OPEN

注意: 感電の危険を軽減する為、
バックパネルを取り外さないでください。資格のあるサービス担当者に修理・点検をご依頼ください。

感電注意

分解したり、水をかけると、
感電の原因になります。

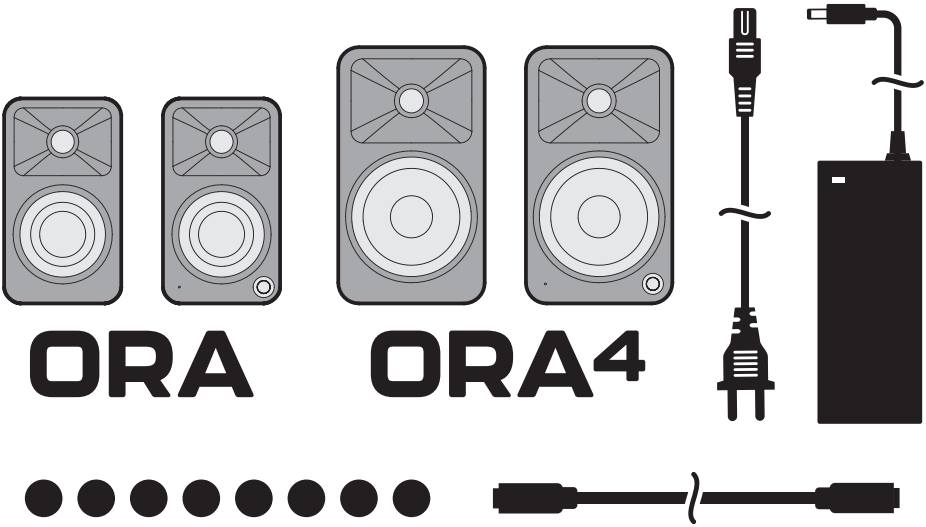
- この説明書をお読みください。
- この説明書を保管してください。
- 全ての警告にご注意ください。
- 機器を水の近くで使用しないでください。
- お手入れは乾いた布でのみ行ってください。
- 通気口を塞がないでください。
- ラジエーター、ヒーター、ストーブ、その他
  熱を発生する機器(アンプを含む)などの熱源の近くに設置しないでください。
- 電源コードを踏んだり挟んだりしないでください。
- 付属品はメーカー指定品以外使用しないでください。
- カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは
  メーカー指定品、または付属品をご使用ください。
- カートを使用する場合、転倒による怪我を避けるため、十分ご注意ください。
- 雷雨時や長期間使用しない場合は、本装置の電源プラグを抜いてください。
- あらゆる整備は資格のあるサービス担当者にご依頼ください。

はじめに

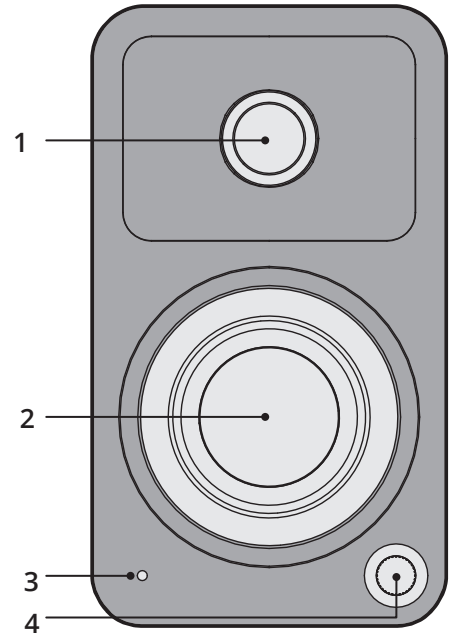
この度はカナダのKanto社のスピーカーORAをお選びいただきまして、誠にありがとうございます。
ORAは、モニターの下に収まるコンパクトサイズでありながら、オーディオマニアも認めるスタジオグレードの音質を実現しています。最新のUSB-C入力でPCやMacから最高の音を引き出し、Bluetooth 5.0でスマートフォンやスマートホームデバイスとペアリングできます。アナログ機器用のRCA入力も搭載しています。

ご使用前に本マニュアルをよくお読みいただき、将来参照できるように保管しておくことをおすすめします。
Kanto社は、本製品の誤った設定や使用によって生じた損害や傷害については責任を負いません。
このパワードスピーカーシステムは、製造中、梱包および出荷前に慎重にテストおよび検査されています。
開梱後、破損がないかまずはご確認ください。
輸送中にユニットが破損することは稀ですが、その場合は直ちに販売店にご連絡ください。

ボックスの中身



フロント・リアパネル



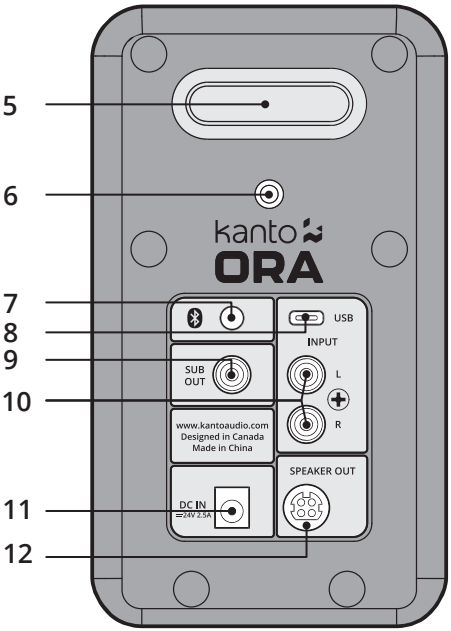
フロントパネル

1　3/4インチシルクドームツイーター

2　**ORA -** 3インチペーパーコーンウーファー
　　ORA4 - 4インチアルミニウムコーンウーファー

3　LED
　　緑 – RCA
　　黄 – USB
　　青 - ペアリングモード（点滅）
　　ペアリング済み（点灯）

4　音量 / 入力選択 / 電源 On / 電源 Off



リアパネル

5　バスレフポート

6　1/4インチ マウンティングホール

7　Bluetoothペアリングボタン

8　USBオーディオインプット

9　サブウーファーアウトプット

10　RCAインプット

11　DC電源入力

12　スピーカーアウトプット

スピーカーのセットアップ

近距離リスニングに最適なデスクトップスピーカーORA/ORA4。さまざまな音源と接続可能で、スタンドアローンでも使用できます。

どちらのセッティングでも、2 台のスピーカーの間隔と壁からの距離が重要です。スピーカーの位置が近すぎたり遠すぎると、ステレオイメージが完全に形成されません。
ORA/ORA4 は、最適な低音再生を実現するために、後ろの壁から少なくとも 20～25cm の位置に設置するように設計されています。部屋の形、大きさ、家具はそれぞれ異なるため、最も満足のいくサウンドパフォーマンスを実現する最適な位置を見つけるためには、ある程度の試行錯誤が必要です。

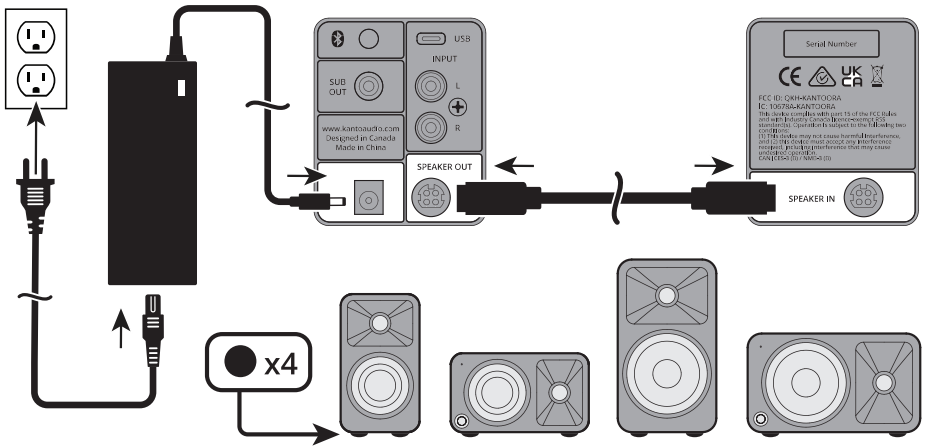
スペース節約のため、モニターの下に横向きに置けるORA/ORA4。しかし、音質を重視するなら直立がおすすめです。デスクトップ表面からの反射音は音質を低下させる可能性があるため、 ORA をリスニングポジションに向けて配置することをお勧めします。

付属のスピーカーケーブルを使用して、以下の図のように 2 台のスピーカーを接続します。 アクティブスピーカー（右）の SPEAKER OUT をパッシブスピーカー（左）の対応する SPEAKER IN に接続します。アクティブスピーカーからの AC/DC 電源アダプターをコンセントに接続します。音量コントロールノブを押して電源を入れます。入力ソースを選択するには、ノブを押します。最後に使用した入力ソースを基準に、入力ソースを順に切り替えます。

RCA→USB →BLUETOOTH

電源を切るには、フロントノブを長押しします。電源を入れるには、フロントノブを1回押します。

以下のページの説明に従って、オーディオソースをORA/ORA4 に接続してください。
次のページの例は、網羅的なものではなく、あくまで一例です。



注意

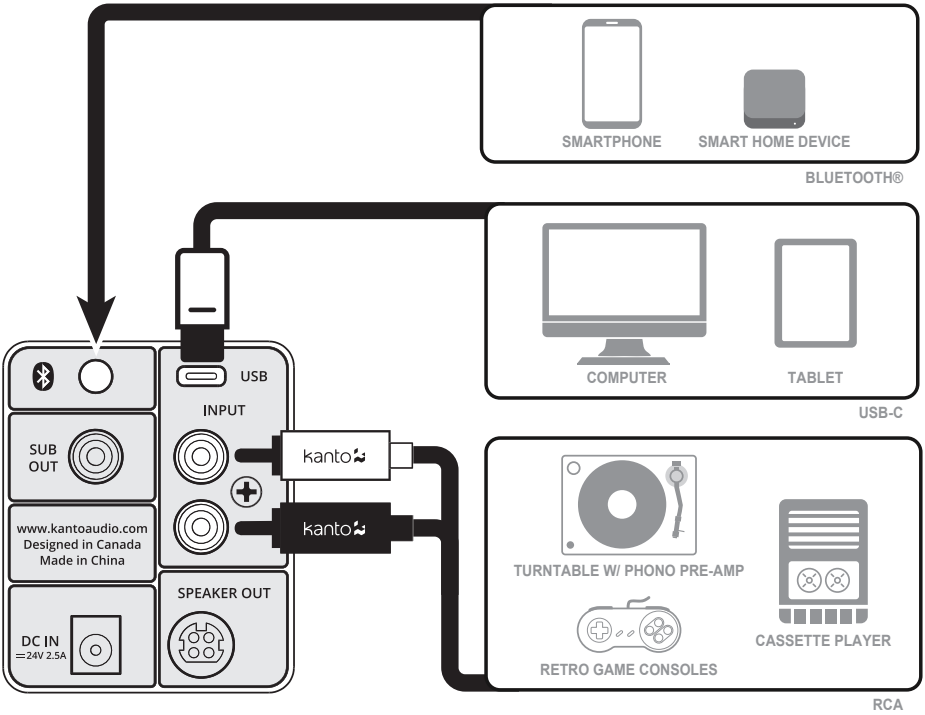
オーディオケーブルを接続するときは、ON/OFF スイッチを OFF にする必要があります。
すべてのケーブルを接続して、ユニットの電源をONにします。
音量が大きい場合、聴覚に損傷を与えるレベルの騒音を発生する可能性があります。
ORA/ORA4はパワードスピーカーシステムです。破損する可能性がありますので、スピーカー端子を他社のステレオアンプには接続しないでください。スピーカーには付属の電源アダプターのみ使用してください。

オーディオソースの接続

適切なオーディオケーブルを使用して、オーディオソースコンポーネントをスピーカーに接続します。
- ステレオ RCA
- 3.5mm ステレオミニジャック AUX ケーブル
- USB-C to USB-C
- USB-C to USB-C with USB-A アダプター
- USB-C to USB-A

ORA は、最大 24 ビット /96 kHz のデータストリームに対応する高品質な USB 入力を備えています。
コンピュータを USB 接続で接続すると、コンピュータ内蔵の DAC をバイパスし、オーディオ信号は ORA/ORA4 によってデコードされます。

USB 接続を行うには、入力ソースのオーディオ再生デバイスとして「ORA/ORA4 by Kanto」を選択してください。



注意
レコードプレーヤーのフォノイコライザーは内蔵されていません。

Bluetooth

Bluetooth® ペアリング

ORA/ORA4 は Bluetooth 5.0 を搭載し、スマートフォン、スマートホーム機器、タブレットなど多くのデバイスとペアリングして、ワイヤレスで音楽再生が可能です。ペアリングは簡単です。

手順：

1. 音量ノブを押し、入力ソースを順次切り替えて、ステータスライトが青色になったら停止します。
   青色の Bluetooth LED が点滅している場合は、ORA/ORA4 がペアリングモードになっていることを示します。
   ライトが点灯している場合は、既に別のデバイスに接続されています。別のデバイスに接続したい場合は、
   ORA/ORA4 背面の Bluetooth ペアリングボタン( )を押してペアリングモードにしてください。
2. 使用している Bluetooth デバイスで、新しいデバイスとのペアリング検索を行います。デバイス一覧から
   「ORA/ORA4 by Kanto」を選択してください。

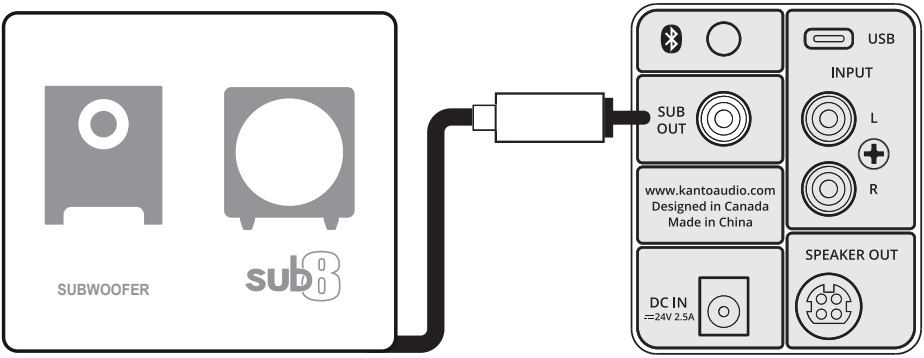
Bluetooth® 操作

1. スピーカーとデバイスの間の距離は最大 10 メートル以内にすることをお勧めします。

2. ORA/ORA4スピーカーはアクティブスピーカー(右)背面にBluetoothペアリングボタンがあり、ペアリングされたデバイスをすぐに切断し、別のデバイスをスピーカーとペアリングすることができます。
   ・ペアリングされたデバイスを切断するには、Bluetooth ペアリングボタンを押します。
   ・別のデバイスをペアリングするには、Bluetooth ペアリング手順に従ってください。

サブウーファーの接続

ORA/ORA4には、パワードサブウーファーに出力信号を供給するためのコネクタが装備されています。
RCAサブウーファーケーブルをORA/ORA4のSUB OUT接続からサブウーファーのAUDIO INPUTに接続するだけです。



アクティブクロスオーバー

ORA/ORA4は、サブウーファーとの接続を簡単にするために、100Hzの自動アクティブクロスオーバーフィルターを備えています。このクロスオーバーフィルターは、メインスピーカーの低音域をサブウーファーに送り、高音域はメインスピーカーに送ります。これにより、メインスピーカーは中音域と高音域に集中し、サブウーファーは低音域をより効果的に再生することができます。
アクティブクロスオーバーフィルターは、サブウーファーケーブルをORA/ORA4のSUB OUTポートに接続すると自動的に有効になります。

アクティブクロスオーバーとは？

ORA/ORA4は、サブウーファーとの接続時に、自動で低音域を切り分けてくれる機能「アクティブクロスオーバー」を搭載しています。
この機能により、メインスピーカーは中音域と高音域に、サブウーファーは低音域を担当するようになり、よりバランスの良い音を実現することができます。

トラブルシューティング

1. フロントパネルのライトが点灯しない。

- 電源ケーブルがスピーカーとコンセントに接続されていることを確認してください。
- コンセントから電力が供給されていることを確認してください。
- スピーカー前面の電源スイッチが「オン」の位置になっていることを確認してください。

2. フロントパネルのライトは点灯しますが、オーディオが再生されません。

- 正しい入力が選択されているか確認してください。スピーカー前面のノブをクリックし４つの入力を切り替えます。
- ソース側の音量を最大に設定してください。オーディオソースが再生していることを確認してください。
- ソースとの間で接続されているオーディオケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。
- スピーカーの音量が最小レベルになっていないことを確認してください。スピーカーの前面にあるノブを使用して音量を上げます。

3. オーディオが1つのスピーカーからしか再生されません。

- アクティブスピーカーとパッシブスピーカー間のスピーカーケーブルを再接続してください。
- オーディオケーブルが接続されているか確認してください。
- ソースのバランス設定が中央になっていることを確認してください。

4. オーディオ品質が低下しています。

- ソースの音量を最大に設定してください。ソースの音量が低いと、ダイナミックレンジに悪影響を及ぼす可能性があります。
- スピーカーの背面が壁から少なくとも20cm離れていることを確認し、背面ポートの機能が妨げられないようにします。
- 別の曲またはソースをテストして、問題がスピーカーにあるのか明確にしてください。

5. ブザー音、ヒスノイズ、または歪みが発生します。

- スピーカーからすべてのソースを取り除きどのソースからノイズが発生しているか確認してください。
- 別の電源コンセントを試して、電源に問題がないことを確認してください。
- ソースに接続されているオーディオケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。問題を明確にするために別のケーブルまたはソースをお試しください。
- USB接続の際は、ソースのサンプリングレートを96kHz以下に設定してください。

6. 接続されたサブウーファーから音が聞こえません。

- サブウーファーに接続されているRCAケーブルがしっかりと差し込まれているか確認ください。問題を明確にするために、別のケーブルまたはソースをお試しください。
- サブウーファーがコンセントに接続されており、「オン」または「自動」に設定されていることを確認してください。

仕様

	ORA	ORA4
ツイーター	3/4インチシルクドーム	3/4インチシルクドーム
ウーファー	3インチペーパーコーン	4インチアルミニウムコーンウーファー
アンプの種類	クラスD	クラスD
電力出力	100ワット	140ワット
出力(ツイーター1個あたり)	9W RMS	12W RMS
出力(ウーファー1個あたり)	16W RMS	23W RMS
周波数応答	70Hz～22kHz	60Hz～22kHz
ハイ/ローパスフィルター	100Hz	80Hz
入力	1×RCA 1×USB-C (16 bit/48 kHz) 1×Bluetooth®5.0	1×RCA 1×USB-C (24 bit/96 kHz) 1×Bluetooth®5.0
出力	1×サブウーファーOUT	1×サブウーファーOUT
スピーカーターミナル	4ピンコネクター	4ピンコネクター
リアマウントホール	1/4”-20	1/4”-20
入力電圧/周波数	AC100V-240V 50/60Hz	AC100V-240V 50/60Hz
スタンバイ電力消費	0.5W以下	0.5W以下
寸法(各スピーカー)	幅100mm x 高さ141mm x 奥行175mm	幅114mm x 高さ169mm x 奥行207mm
本体重量 (アクティブ)	1.0kg	2.0kg
本体重量 (パッシブ)	1.0kg	1.8kg
梱包箱寸法	幅227mm x 高さ383mm x 奥行254mm	幅430mm x 高さ290mm x 奥行284mm

注意: この機器には、廃電気電子機器 (WEEE) に関する欧州指令 2002/96/EC に従ってラベルが貼られています。このラベルは、この製品を家庭廃棄物と一緒に処分してはならないことを示しています。回収とリサイクルを可能にするために、適切な施設に保管する必要があります。

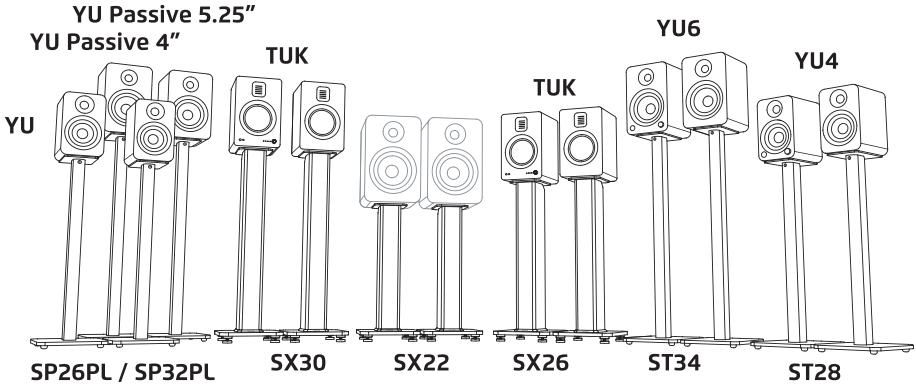
メーカーおよび輸入者:
Kanto Living Inc., 9136 196A Street, Langley, BC, Canada V1M 3B4

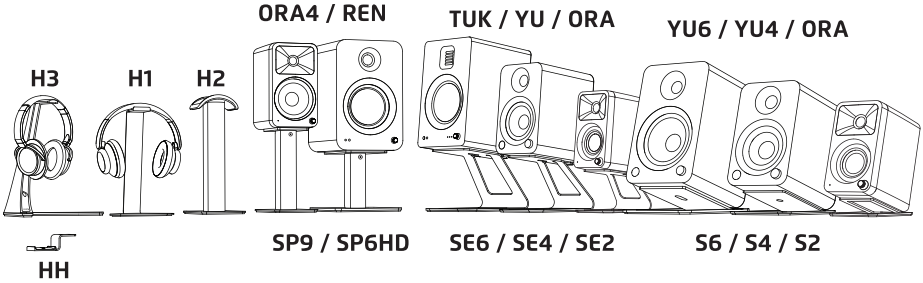
保証規約

日本国内における保証期間はお買い上げ日から1年です。製品の欠陥が原因で機器が故障し、販売から12ヶ月以内に正規販売店から請求書原本の証明とともに当社に通知された場合、当社は、機器が機械的、電気的、またはその他の改造を受けていないことを条件に、修理、交換部品の提供または機器の交換を行うことができます。

このマニュアルの情報は慎重にチェックされ、正確であると信じられています。ただし、Kantoはマニュアルに含まれる可能性のある誤りについて一切の責任を負いません。いかなる場合においても、Kantoは機器の欠陥に起因する直接、間接、特別、付随的、または結果的な損害に対して責任を負いません。この保証は、その他の明示または黙示の保証を含む、すべての保証の代替となります。
特に商品性や特定の目的への適合性に関する保証を含む、すべての黙示の保証は明示的に否認されます。

kanto





kantoaudio.com Kanto Audio kantoaudio

Kanto Solutions Kanto Living

www.kantoliving.com | support@kantoliving.com
Toll Free: 1-888-848-2643